

PCによるハイビジョンビデオ編集

学校紹介ビデオ作成を通して

ハイビジョンとは

- **ハイビジョン** (*Hi-Vision*) とはNHKが商標権を有する、日本における高精細度テレビジョン放送 (**High Definition television/HDTV**) の愛称。
- **NTSC** 標準テレビ放送に対し**走査線が2倍**以上。画面の縦横比(アスペクト比)は人間の視野に合わせて標準(4:3)よりも横長な16:9。
- デジタルハイビジョン放送では画素数1920×1080(横×縦、正方形画素)または1440×1080が主流である。画素数が1920×1080以上のハイビジョンパネルをフルハイビジョンと呼ばれることがある。

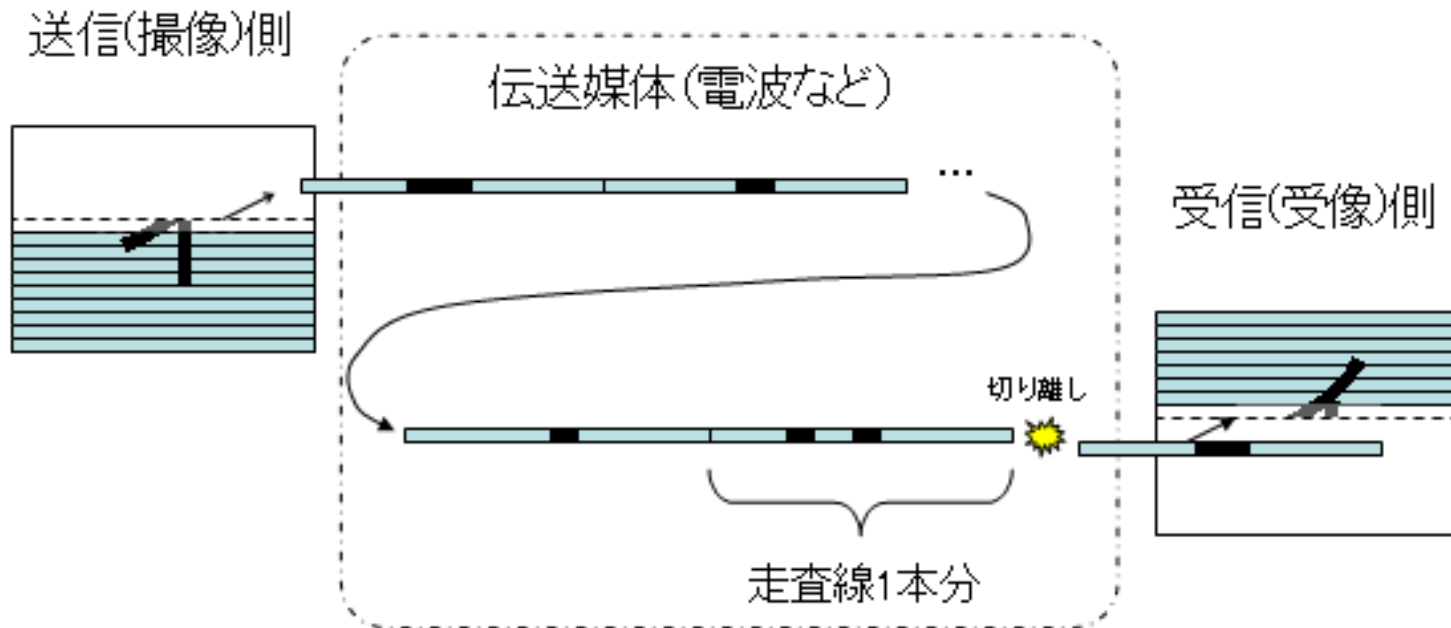
NTSC

- 日米で採用している、地上波アナログカラーテレビの放送方式のこと。
- 総走査線数は525本、毎秒30フレームを描画

走査線

- 走査線とは、ディスプレイで、電子ビームが走査する画面左端から右端までの軌跡のこと。解像度が 1024×768 ドットのディスプレイでは、走査線は768本になる。

テレビジョン信号伝送の考え方



ハイビジョン編集での留意点

- ビデオ編集ソフトがハイビジョンに対応しているか。
- ハイビジョン画質でディスクに書き出すのか、標準画質で書き出すのかなどの設定。
- 書き出しにはかなりの時間がかかり(エンコードするため)30分のファイルを書き出すのに5時間以上かかりました。

学校紹介DVD作成に使った機材

デジタルビデオカメラ

- ソニー
- HDR-500V (2009年2月購入)
- HDD 120GB
- ハイビジョン撮影対応



PC



- ソニー
- バイオVGC-LV52JGB (2009年4月購入)
- CPU インテル Core 2 Duo プロセッサー E7400 (2.80 GHz)
- メモリ 4GB HDD 1TB ブルーレイドライブ搭載

ソフトウェア

- アドビ プレミア エレメンツ7.0 (バイオプリインストール版)



学校紹介DVD作成 仕様

上映時間 約30分程度

- タイトル
- 校舎
- 沿革
- 教育目標
- 校章の画像
- BGM 校歌、BGM
- ナレーション
- 現在の学科構成
- 資格取得
- 主な進学、就職先
- 設備
- クラブ活動
- 1年間の行事
 - 遠足 体育大会
 - 文化祭 修学旅行
 - マラソン大会
- 中学生の皆さんへのメッセージ

ビデオ作成の手順

学校の様子を撮影



パソコンに取り込む(USBケーブル)



ビデオ編集ソフトで編集



ディスクに書き出す。

パソコンへの取り込みについて

USBケーブルでPCとカメラを接続

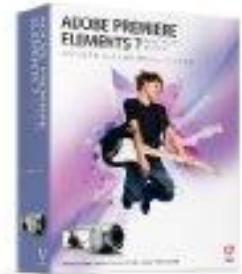


カメラ付属のソフトがPCに自動取り込み



ビデオ編集ソフト「プレミア」で使用する動画を選択

ビデオ編集ソフト「プレミアエレメンツ7.0」について



- **動作環境:**
- **[windows]**
- **対応OS:** Windows XP(SP2)/Media Center/Vista
- **CPU:** SSE2をサポートする1.8GHz以上のプロセッサ ※HDVまたはBlu-rayには3GHz以上のプロセッサ、AVCHDにはデュアルコアプロセッサが必要
- **メモリ:** Win XPは512MB以上、Win Vistaは1GB以上 ※HDV、AVCHD、またはBlu-ray用には2GB以上
- **HDD:** 4.5GB以上
- **メディア:** DVD-ROM

- **モニタ:**1024×768、16bitカラー以上 **ビデオカード:**DirectX 9/10に対応のもの **サウンドカード:**DirectX 9/10に対応のもの **他DVD-ROMドライブ、QuickTime 7が必要** ※DVDに書き出す場合は対応DVDライター、Blu-rayディスクに書き出す場合にはBlu-rayライターが必要。Digital 8、DV、またはHDVビデオカメラに接続するためのDV/i.LINK/FireWire/IEEE1394 インターフェイス、またはDV-USB互換のDVビデオカメラに接続するためのインターフェイス(Media Downloaderを使用する場合は対応する他のビデオ機器)が必要。一部のファイル形式(AVCHD、DVD、Blu-ray、MPEG-2、MPEG-4、H.264、Dolby デジタルステレオなど)の読み込み/書き出しには、インターネット経由でライセンス認証を行う必要あり。3GP、3GP2、MOV、MPEG-4、およびQuickTimeの読み込み/書き出しには、QuickTimeが必要

従来のデジタルビデオ映像の取り込み

- 従来のデジタルビデオの映像（メディアはテープ）を取り込む場合。
- まず、DVDレコーダーに取り込み、DVDにダビングした後、プレミアに取り込むという方法で行いました。 **直接パソコンとつないだところ、ビットレートがうまくいかないのか、映像が乱れたため。**

作品製作を通して。

- 個人レベルでハイビジョン映像を扱うことは充分可能であった。
- PC、ビデオカメラ、ビデオ編集ソフトとの相性を検討することが重要であると感じた。
- 静止画よりも動画の方が説得力があると感じました。